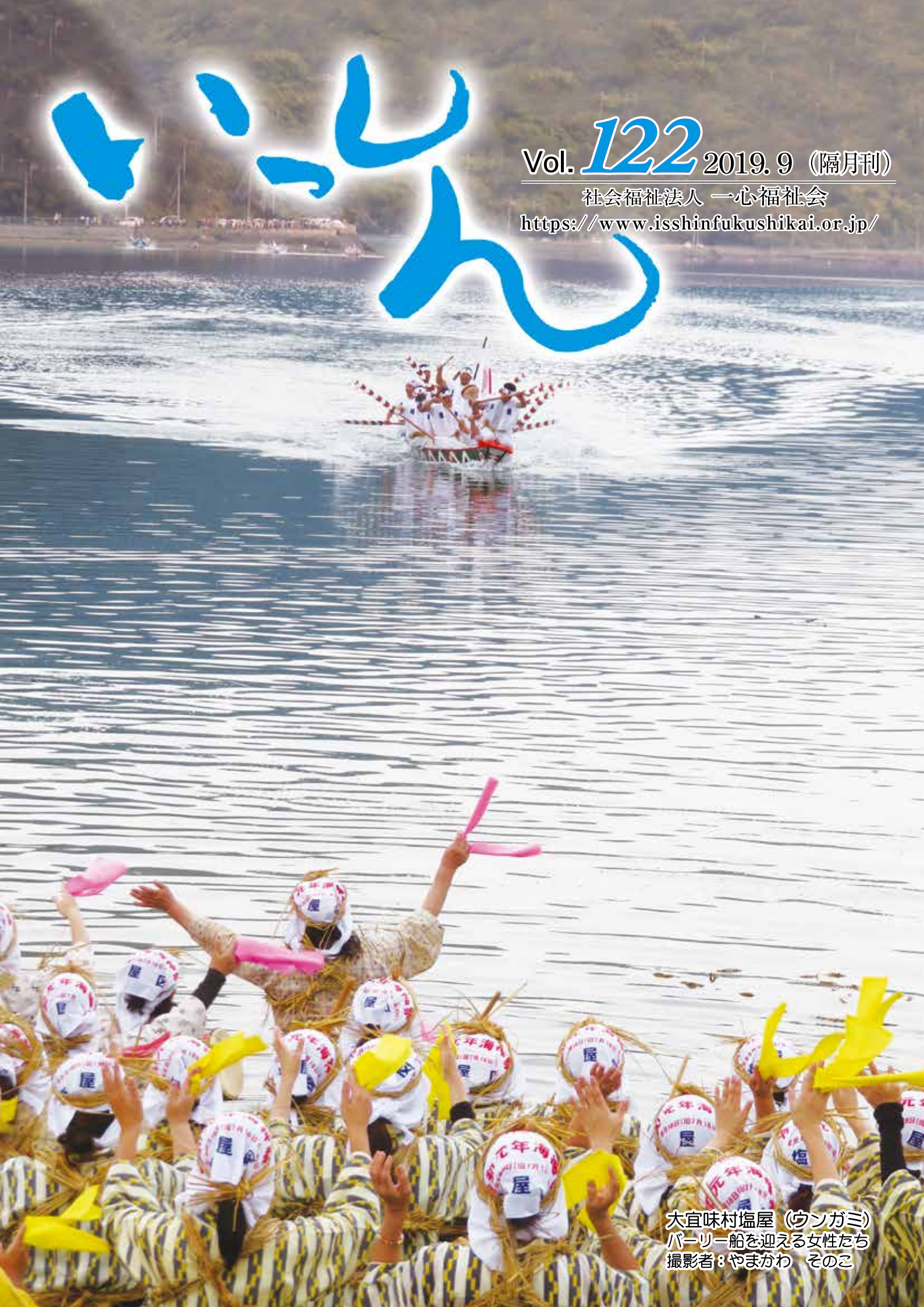


いん

Vol. *122* 2019.9 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福社会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



大宜味村塩屋 (ウンガミ)
パーリー船を迎える女性たち
撮影者: やまかわ そのこ

介護福祉士資格取得に 向けた人材育成

法人研修担当

平成二十九年度から介護福祉士受験資格に介護業務実務経験三年以上に加えて実務者研修(四五〇時間+医療的ケア)受講が義務化されました。人材不足、育成、定着は当法人にとっても大きな課題であり、取り組みを強化しているところです。そのような状況下、東村と国頭村は平成三十年(高齢者福祉及び障害者福祉サービス)を担う人材育成と、村内の福祉関係事業所における人材確保と定着を促進し、地域福祉の充実を図ることを目的として、福祉人材育成事業を開始しました。対象となる研修は「介護職員初任者研修」です。追って令和元年大宜味村も同事業を開始、今年度からは内容も充実し実務者研修も受講できるようにになりました。東村、大宜味村、国頭村とやんばる三村の育成事業



募集チラシを法人でも研修担当施設が配布し募集をかけました。法人からは五名の職員が受講することになりました。(三村以外の職員へは沖縄県社協の補助制度を推奨しています)

話は少し変わりますが、昨今は施設や在宅などの生活の場での医療的ケア行為が増えてきた経緯がありますが、医療的ケアは介護福祉士の実務者研修の必修になっていくこともあり、当法人内で医療的ケア研修が実施出来るように医療的ケア教員資格の取得を検討しています。

衛生委員会からのお知らせ

七月の衛生委員会で審議した看板が設置されました。一つは施設前道路にて安全運転「徐行」を促す標識、もう一つはえすの里駐車場に車の施錠を促す看板です。

利用者・職員全体の安全を守ることを目的ですので、皆様の御協力よろしくお願い致します。



ゆっくり走ろう～



カギは忘れないでネ

サンクス THANKS 運動

平成二十八年四月より社会福祉法人は、地域の公益的な取り組みを行うことが必須となりました。このことをうけ、当法人も「のぼり」を設置し、地域住民からの福祉・生活課題に関する相談を受け付けています。

社会福祉法人が行う暮らしの相談窓口

福祉のことでお困りの方は、58号線沿いの地域支援室へご相談ください。



黄色ののぼりが目印

防犯講習会

法人研修担当



ねらいを定めて、カラーボールを投げます。



「さすまた」こう使います。



カウンター等におくと効果的な防犯対策になるカラーボール。

八月二十日、一心療護園にて名護警察署及び塩屋派出所にご協力をいただき、不審者に対する防犯講習会を実施しました。内容は三部構成になっており、一部は不審者が施設内に侵入した場合の距離のとり方を剣道における「間合い」で指導してもらいました。

二部は強盗などに対して投げつけ、衣服や逃走車輛に目立つ蛍光色をつけることにより、逃走を難しくする「防犯カラーボール」を実際に投げてみる訓練を体験しました。カラーボールは犯人の足元付近の路上を狙い強く投げつけることが大切なのですが、実際はボールが割れないなど職員から「見た目よりやるのは難しい」の声が聞

かれました。

三部は施設に不審者が侵入したことを想定した訓練を実施しましたが、「不審者が施設玄関から侵入、事務員が声をかけるも無視し不審な行動をとり続けるため一〇番通報にて警察官を呼ぶ」の内容でしたが、警察官が来るまで間どう持ちこたえるのか？改めて「早めの一〇番通報の大切さ」を実感しました。

今後利用者様と職員自身の身を守るよう訓練を重ね、防犯対策をしっかりと行っていききたいと思います。

名護警察署及び塩屋派出所のご協力ありがとうございました。

夢クラブ〜フォークコンサート〜

一心療護園

七月二十二日、謝名城出身の宮城勉さん夫婦によるフォークコンサートが開催されました。数年前から不定期ではありましたが療護園に来園され七十年代のフォークソングを披露してくださっていた勉さんでしたが、今年度は定期的（奇数月）フォークコンサートを開催してくれることになり、利用者の皆様もすごく喜んでいきます。



懐かしい歌声にしばし若がえる〜

三村スポーツ交流会

大宜味村・東村・国頭村

一心療護園

七月三十一日、一心療護園食堂ホールにて大宜味村、東村、国頭村の身体障害者協議会合同スポーツ大会が開催されました。

競技種目は、スカットボール、ボーリング、ペタリングの三種目。一心療護園の利用者様もほとんどの方が好きな競技に

参加され、とても楽しい時間を過ごされました。特にメダルを授与された方は大満足な様子で、一緒にいただいた賞品にも大喜びでした。

来年も頑張るぞ〜と今からやる気満々な利用者様もたくさんおられ、元気いっぱい療護園です。



選手宣誓



スカットボール



ボーリング

夏を満喫

～スイカ割り～

七月十九日、夏の風物詩スイカ割りを行いました。各テーブルごとに一人ずつ目隠しをすると「全然見えないさ」「出来るかな」と不安な声々周りの利用者が「もつと前よー右、もつと左よ」と応援してくれました。利用者の中には、「職員がわざと違うところに誘ったでしょ？だから割れなかつたんだよ」と冗談を言う方や「ちゃんと当てたのに割れなかつたな」と悔しがる利用者もいましたが、毎年恒例のスイカ割りを楽しむことが出来て皆さん喜んでいました。

デイサービスでは、今後も利用者の皆さんが楽しめる企画に取り組んでいきます。

デイサービスセンターやんばる



かけ声とともに力いっぱい「エイ」

子どもたちと交流会

七月二十六日、塩屋保育所の園児七名の皆さんが来所し、交流を行いました。今回は、保育所の夕涼み会で実演した演技を披露してくれました。挨拶から最後の元気なエイサーまでとても楽しませてもらいました。

園児の皆さん、先生方ありがとうございました。



子どもたち大ハッスル



カワイイ笑顔から元気をもらいました

小規模多機能ホームいっしん

流しぞうめん楽しみました！

グループホームつつじ苑

七月十日、夕涼み会を実施し、その中で流しぞうめんを楽しみました。村内より竹を調達、そうめんが流せるよう作り、天ぷらも揚げ職員も一緒に楽しみました。

「昔はよく冷やしそうめん食べた」「取るの難しいな」と昔を懐かしみ話してくれた利用者もいて、楽しいひと時を過ごしました。

つつじ苑では、今までの生活をそのままに施設生活を送れる様今後も支援に努めます。



そうめんつかむのむずかしいよネ～

リハビリ頑張ってます

小規模多機能ホームあがり

当施設では、職員の親川竜次さん手作りのリハビリ器具で機能訓練を行っています。肩・肘・肩甲骨等に使用するリハビリ器具でその他に立位訓練・昇降訓練にも使用できる万能器具です。職員の声かけがなくても自ら進んでリハビリされる方もいます。

今後も健康で笑顔で過ごせる様にこれからもリハビリ頑張ります。



リズムにあわせて1・2・3

津波区海岸清掃

グループホームえすの里

津波区の海岸清掃に今年もグループホームえすの里の利用者さん、職員二十一名で参加してきました。



津波区民のみなさんとハイチーズ



当日は、「猛暑」強烈な暑さの中での清掃作業となり、塩分・水分補給をしながら頑張りました。三回目の参加もあり、地域の方とも談笑したり、一緒に作業に取り組む姿も多く見られ、グループホームが地域に根付いて来ている事に感動しました。

今後、区民の一員として地域行事等への参加協力や交流を図りながら、充実した生活を支援していきます。参加された皆さん本当にお疲れ様でした。



ガンバリました！

獲ったぞあ〜



グループホームきじよか

午後の日中活動として、職員が竹竿に糸を結び糸の先に磁石を取り付けた手作りの釣竿で釣りを楽しんでいきます。魚だけでなく、パイナップルなどの果物や、一万円を印刷した札束などもあり利用者が見事に品定めして釣りを楽しんでいきます。断然、札束に人気があり、「お金があれば何でもできるからねー」や「今日の夕飯釣つてよー」などと利用者との会話も



大物釣りあげたよ〜

楽しんでいきます。

G H きじよかでは今後も充実した日中活動を展

開していきたいと考えています。



私にとってあげようね

川遊び

えすの里

七月十七日、えすの里では夏のお楽しみイベントの一つ「川遊び」を行いました。

今年、東村立山と水の生活博物館周辺の福地川下流へ！真つ青な空、マインスイオン全開の場所で川の流水音が流れるまさに「癒しの空間」！川に入って遊泳やカヌー体験



カヌー初体験サア〜こごぞ〜

験を楽しむ人、川に住む生き物を探す人、楽しむ方は人それぞれでしたが参加者全員がひと時の涼

を存分に楽しむ事が出来ました。



ちょっとコワイけどチョ〜気持ちいい〜い



東村有銘出身
やんばるの家人所者
佐久本 勝子さん(98歳)



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

98歳の笑顔

夫は戦争から帰ってきて体を悪くして、十分に働けなかったから私が子供たちを育てるために何でもして頑張りました。特に畑仕事は好きでしたから東村特産パインをたくさん作りました。山に畑が有ったので収穫したパインをいっぱいカゴに入れ、頭に担いで山を下りました。パインを食べべに来たイノシシにワナ



自家野菜を収穫する勝子さん(92歳)

学校を卒業して大阪の工場に働きに行きました。四〜五年働いて有銘に帰ってきて結婚しました。五人の女の子に恵まれました。

をかけて獲りました。イノシシを持って帰ると隣近所の人がわーと集まってきて楽しかったです。今でもあの光景は夢にみます。イノシシは男の人にさばいてもらい、イノシシ汁にして皆と一緒に食べました。臭みもなく豚よりもおいしかったです。

お茶も自分で作った薬草を乾燥させ作りました。友達が欲しいというので分けてあげました。そのせいでこんなに長生きしていると思いますよ。(笑)(本人・家族に聞き書き)



五女(美容師)にカットされる勝子さん

七月四日、大宜味中学校二年生が来所し、デイサービスとやんばるの家でシークアサー音頭や校歌、童謡等披露してくれました。その後、二グループに分れ交流してもらいました。

大宜見中学校 福祉体験

やんばるの家



シークアサー音頭を披露する大中生



「おばあちゃんの願い事は何ですか？」

大宜味中学校の皆さんありがとうございました。今回の交流会で利用者の皆さんの笑顔がとても印象に残りました。大宜味中学校の皆さんありがとうございました。



「願いを聞きながら沢山お話が出来て良い経験をすることが出来ました」

「コミュニケーションの難しさを感じました」等、沢山の感想を聞くことが出来ました。

経営の現状分析（その2）人件費

給与アップが最重要課題

今回は事業収益（介護報酬等事業収入）の面から経営の現状を分析した。今回は費の大部分を占める「人件費」について。

表1が示す通り、人件費は毎年度増額の一途をたどっている。増額の要因は主に職員数増と給与改善。

ちなみに、2017年度の対前年度比で人件費総額は5,234万円の増。同じ年度の対前年度比で事業収入は6,714万円（本紙前号「経営の現状分析（その1）」の別表参照）なので収入増の大半は人件費増に当てられたことになる。同じく2018年度の数字を分析すると、対前年度比人件費の増6,365万円。同年度、事業収入は対前年度比3,978万円に過ぎず、収入増額以上の額を職員処遇改善（給与底上げ等）に当てた結果である。

この1、2年の処遇改善の経過をたどると、

- (1) 2017年10月基本給1号アップ4月の定期昇給とは別に年度半ばながら一律に1号昇給の改善を行ったもの。
- (2) 2018年4月給与改定
 - ① 職員に有利となる基本給を底上げし、賞与を減額。毎月支給する月給額と賞与のバランス修正。

② 時給を90円アップ。

③ 期末一時金の支給（前年度および当該年度の業績を勘案して）

ことに2018年度は「期末一時金を支給できる」の規程を実行。その総額が13,030,000万円（支給対象職員169人）支給額は正規職員で平均8万円。2018年度人件費増額の約4分の1を占めている

以上の処遇改善を経て、職員の年収（平均）は表2の通りとなった。

全国平均、県内平均の数値が不明のため年収の数値の評価は軽々に語れないが、この数値をいかに引き上げていくか経営の最重要課題。

人件費でかなりのパーセンテージを占めているのが退職給付掛金。コストという面からみると人件費全体の伸率以上のスピードで増額を続けている。それは2006年度（平成18年）以降、新規加入職員については掛金が大幅アップ（旧来掛金の3倍）したため。新採用職員については退職金制度のらち外とする法人が増えているが、当法人では全職員加入で継続していく方針を確認している。「退職金」についてはこのシリーズで稿を改め、詳述の予定。（仲本 一夫）

表1 人 件 費 単位：円

拠点区分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
法人全体	616,002,927 (65.4%)	647,467,212 (67.7%)	664,366,895 (67.5%)	716,708,881 (68.0%)	780,366,849 (70.7%)
役員報酬	4,286,910	4,006,640	4,573,444	4,697,777	5,696,640
職員給与・賞与	324,501,395	346,197,500	360,793,577	388,702,357	442,913,030
非常勤給与・賞与	197,062,685	205,813,866	204,563,464	220,858,208	210,300,977
法定福利費	76,631,329	80,497,706	84,042,814	90,343,199	94,498,174
退職給付掛金（医療事業団）	9,878,700	10,951,500	10,370,400	11,792,500	13,350,000
退職共済掛金（県社協）	4,327,000	4,346,189	4,602,840	4,831,960	5,672,720
合計	616,688,019	651,813,401	668,946,539	721,226,001	772,431,541
職員数（4月1日現在）				184	191

表2 職員の年収（平均） 単位：円
(月給・賞与等一時金)

年 度	2017年度	2018年度
正 職 員	4,216,512 (44歳)	4,243,267 (44歳)
準 正 職 員	2,953,586 (34歳)	3,026,376 (37歳)
臨 時・パ ー ト	2,334,153 (34歳)	2,361,489 (48歳)
処遇改善対象職員	3,203,684 (41歳)	3,333,392 (43歳)

※ () は平均年齢



絵てがみ ～夏を描く～



白鳥由美子先生、ご指導いつも
ありがとうございます。
(一心療護園)



女性たちに迎えられハーリー船でシナバ
(青年浜) へついたカミンチュ。
(地元出身の多くの法人職員が参加しました)

大宜味村 塩屋ウシガミ

重要無形民俗文化財



ナガリ(兼久浜)で、
豊作と豊漁を祈願する
カミンチュ



約500年の歴史をもつ祭
祀に多くの報道陣が取材
におとずれた



2019 一心福祉会 納涼祭

今年のゲストは
ジョニー宜野湾
さん!
大いに盛り上が
りました。

◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	31名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	2～3名	0名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	5名	0名
小規模多機能ホーム あがり (☎0980-43-2344)	25名	6名	0名
グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	1名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和元年8月26日現在